

## 自然保護センターニュース



## 秋の森、紫の君

秋の森で紫色にきらりと光る姿を見せてくれるのがムラサキシキブの果実です。和名の由来は花と果実が紫色の優美な姿を見せることから、平安時代の作家、紫式部の名を借りたものです。



## 【季節の自然情報】秋の七草

「秋の七草」とは、秋に咲く代表的な七種類の草花のことです。奈良時代の万葉集に収められている歌で詠まれたものがそのはじまりとされ、いずれの植物も昔から最近まで普通に見られた身近なものであったと考えられますが、オミナエシやフジバカマ、キキョウについては県内の自生地は減少しており、今では絶滅危惧種となっています。



### ハギ（ヤマハギ）の花

山野に生える落葉低木。花期は8～9月で、蝶形の紅紫色の花を10個ほどつけます。観賞用として庭や公園によく植栽されています。



### ススキの穂

日当たりのよい草地に生える多年草。花期は8～10月で、穂に稔った種子に白い毛が生えることで、穂全体が白っぽく見えます。



### クズの花

山野に普通の多年生つる植物。花期は7～9月で、紅紫色の花を密につけます。根っこに含まれるデンプンは「葛粉」となり、県内では熊川葛が有名です。



### ナデシコ（カワラナデシコ）の花

低地から山地の草原や河原などに生える多年草。花期は7～10月で、淡紅色の花を数個つけます。本種の高山型の変種としてタカネナデシコがあります。



### オミナエシの花

日当たりのよい草地に生える多年草。花期は8～10月で、3～4mmの黄色の花を多くつけます。自生地は非常に減少しています。福井県域絶滅危惧Ⅰ類。



### フジバカマの花

川の土手などに群がって生える多年草。花期は8～9月で、淡紅紫色の小さな頭花を多数つけます。自生地の減少がすすんでいます。福井県域絶滅危惧Ⅰ類。



### キキョウの花

山野の草原に生える多年草。花期は7～8月で、青紫色の鐘形の花を数個つけます。植生遷移や園芸採取により著しく減少しました。福井県域絶滅危惧Ⅰ類。

※最新情報についてはホームページでご確認ください。

## 企画展

### 【福井の獣と鳥～けもののかたちとはたらき～】

福井県に生息する獣と鳥を紹介します。常設展示では見られないたくさんの剥製を展示します。獣については体の形とその働きについて紹介します。

開催期間：9月19日(木)～11月4日(月振)  
場所：自然保護センター レクチャーホール



▲ 企画展「福井の獣と鳥」の展示の様子



## 天文教室

### 【秋に輝く一等星】

一等星に目を向けながら、秋の星座や天体をプラネタリウムで学んだ後、野外で観望します。秋の星空を満喫できる天文教室です。今回天体ドームは使用できませんが、その分野外での観望を充実させています。

開催月日：10月25日(金)  
開催時間：19:00～21:00  
対象：一般、小学3年生以上の親子  
(兄弟は小学生以上可)  
定員：40名  
場所：自然保護センター 観察棟  
申し込み：9月25日(水)から電話等で受付  
参加費：無料

### プラネタリウム ※参加費、申し込み不要

職員の生解説で季節の星座や天体を紹介します。また星座にまつわる物語を上映します。

開催月日：毎週土曜、日曜、祝日  
開催時間：10:00～、11:00～、13:30～、  
14:30～(約40分)  
定員：44名/回  
場所：自然保護センター観察棟

### 週末天体観望会 ※参加費、申し込み不要

天体望遠鏡を使い、季節の星雲・銀河・星団・恒星などの天体を観望します。

開催月日：毎週土曜日  
開催時間：19:00～21:00  
場所：自然保護センター観察棟

### 【団体向けプログラム】※要申込。10人以上を団体として取り扱いたします。

プログラム名	定員	場所	期日・時間
館内・自然観察の森ガイド	—	センター本館 または 自然観察の森	申し込みに応じて実施
しおりづくり	30名/回	センター本館 工作室	
池ヶ原湿原のヨシ工作	30名/回		
天体観望会(昼・夜)	50名/回	センター観察棟	平日のみ 申し込みに応じて実施 (1・2月は休止)
プラネタリウム	44名/回		

※申し込み用紙はセンターHPに様式がございます。原則として1ヶ月前までにご連絡ください。  
※プログラムの詳細等は電話・FAX・E-mailにてお気軽にご相談ください。